



# トラノコ・ファンドⅢ

## 愛称: 大トラ DAI-TORA

決算日

第1期:2018年3月20日

(作成対象期間2017年4月24日～2018年3月20日)

受益者のみなさまへ

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、ご購入いただいております「トラノコ・ファンドⅢ 愛称:大トラ」は2018年3月20日に第1期決算を行いました。ここに、期中の運用状況をご報告申し上げます。今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

○当ファンドの仕組みは次のとおりです。

商品分類	追加型投信／内外／資産複合
信託期間	無期限
主要投資対象	親投資信託である「トラノコ・マザーファンドⅢ」
運用方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ファンドは、マザーファンドの受益証券への投資を通じて、実質的に世界各国の金融商品取引所に上場（これに準ずるものを含みます。）される上場投資信託証券（以下「ETF」といいます。）および上場指標連動証券（以下「ETN」といいます。）に投資することにより、主として国内外の株式、債券、不動産投資信託（REIT）、コモディティ、金利等に投資します。</li> <li>◆マザーファンドの受益証券の組入比率は、原則として高位を保ちます。</li> <li>◆マザーファンドにおいて、原則として、米ドル建ての実質的外貨建資産に対して0%～100%の範囲で、適時、対円で為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図ることを基本とします。</li> <li>◆外国為替予約取引は、ヘッジ目的に限定します。</li> </ul>
主な投資制限	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.ETFおよびETNへの実質投資割合には制限を設けません。</li> <li>2.外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。</li> <li>3.デリバティブの直接利用は行いません。</li> <li>4.一般社団法人投資信託協会の規則に定める一の者に対する株式等エクスポージャー、債券等エクスポージャーおよびデリバティブ等エクスポージャーの投資信託財産の純資産総額に対する比率は、原則としてそれぞれ10%、合計で20%以内とすることとし、当該比率を超えることとなった場合には、一般社団法人投資信託協会の規則に従い当該比率以内となるよう調整を行うこととします。</li> </ol>
収益分配方針	<ol style="list-style-type: none"> <li>①分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。</li> <li>②分配金額は、委託会社が、信託財産の成長に資することを目的に、上記①の範囲内で、基準価額水準、市況動向等を勘案し決定します。従って、必ず分配を行うものではありません。</li> <li>③留保益の運用については、特に制限を設けず、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。</li> </ol>

TORANOTEC投信投資顧問株式会社 〒105-6027 東京都港区虎ノ門4-3-1 城山トラストタワー27階

運用報告書に関するお問い合わせは

<トラノコお客様窓口 TEL 03-6432-0782(平日9:00～17:00)> <ホームページ <http://toranotecasset.com>>

本資料は投資信託の運用状況を開示するためのものであり、勧誘を目的とするものではありません。

# 運用報告書(全体版)

## 目次

### ◆トラノコ・ファンドⅢ

最近5期の運用実績	2
当期中の基準価額の市況等の推移	2
第1期の運用経過等	3
分配金のお知らせ	6
1万口当たりの費用明細	7
売買及び取引の状況	8
利害関係人との取引状況等	8
第二種金融商品取引業を兼業している委託会社の自己取引状況	8
自社による当ファンドの設定・解約状況	8
組入資産の明細	8
投資信託財産の構成	9
資産、負債、元本及び基準価額の状況	9
損益の状況	9
お知らせ	10

### ◆親投資信託の運用報告書

トラノコ・マザーファンドⅢ	11
---------------	----

# 運用報告書(全体版)

## ●最近5期の運用実績

当ファンドは、ファンド設定後5年間を経過していないため、設定日(2017年4月24日)以降の情報を記載しています。

決算期	基準価額	税込み 分配金	期中 騰落率	投資信託証券 組入比率	純資産
	(分配落)				
(設定日)	円	円	%	%	百万円
2017年4月24日	10,000	—	—	—	1
1期(2018年3月20日)	10,291	0	2.9	95.0	87

(注)当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注)設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注)設定日の純資産は、設定元本を表示しております。

## ●当期中の基準価額の市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率	投資信託証券 組入比率
(設定日)	円	%	%
2017年4月24日	10,000	—	—
4月末	10,092	0.9	93.3
5月末	10,161	1.6	93.4
6月末	10,167	1.7	94.0
7月末	10,236	2.4	92.9
8月末	10,199	2.0	97.7
9月末	10,308	3.1	101.3
10月末	10,453	4.5	98.8
11月末	10,510	5.1	97.1
12月末	10,642	6.4	98.4
2018年1月末	10,699	7.0	95.8
2月末	10,391	3.9	96.8
(期末)			
2018年3月20日	10,291	2.9	95.0

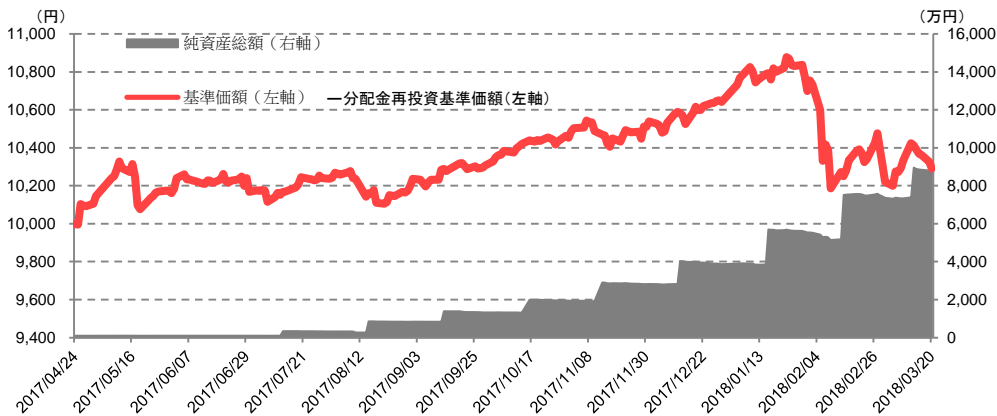
(注)騰落率は設定時の基準価額比です。

(注)当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。

# 運用報告書(全体版)

## ●第1期の運用経過等(2017年4月24日～2018年3月20日)

### <当期中の基準価額等の推移>



(注) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

(注) ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客様の損益の状況を示すものではありません。

### <基準価額の主な変動要因>

当ファンドの当期末基準価額は10,291円、設定日比+291円となりました。債券への配分が少なく、株式ETFを多く組み入れていたことで、株価上昇の恩恵を大きく受けることができました。

### <上昇要因>

以下の要因により、株式ETFが上昇しました。

- ☞世界的な景気拡大見通しを背景に2017年9月度の米国企業決算が好調であった。
- ☞米国が行った法人税減税措置が主要株式市場の支援材料になった。
- ☞緩やかな成長と低インフレによる物価の安定という適温経済(ゴルディロックス)が継続した。

# 運用報告書(全体版)

## <下落要因>

欧州中央銀行(ECB)ドラギ総裁が金融緩和縮小を匂わす発言をしたためユーロ圏の金利上昇が懸念され株式ETFが下落しました。

米国において政策金利引き上げの影響や継続的な利上げが懸念され債券ETFが下落しました。

## <投資環境>

### <株式市場>

期首以降、総じて景気拡大が継続したため、世界の株式市場は順調に推移しましたが、2018年に入って大きく下落した後は、期末まで低位で推移しました。

緩やかな成長と低インフレによる物価の安定という適温経済(ゴルディロックス)が継続する中、2017年6月の欧州中央銀行(ECB)ドラギ総裁による欧州における金融緩和縮小を匂わせる発言や、8月に起こった北朝鮮・米国間の緊張などで、一時的に下落する場面はありましたが、主要国の企業決算が好調だったことに加え、11月には米国で法人税減税を決定するなどの好材料が続いたため、2017年内の株価は概ね順調に推移しました。しかし、2018年に入り米国の更なる金融引き締め(追加利上げ)への懸念をきっかけに大きく下落し、その後も、トランプ政権閣僚の相次ぐ交代や、米国の追加輸入関税措置の実施などが不安視され、株式市場は不安定な動きを示しました。

### <債券市場>

米国の金利の引き上げや、欧州の金融緩和縮小などから、2017年後半から2018年初頭までの間、主要国長期金利が上昇したため、米欧の債券価格は下落しました。しかし、2018年に入りトランプ政権閣僚の相次ぐ交代や、米国の追加輸入関税措置の実施などが不安視された結果、株式市場からの資金流入が拡大し、債券価格は下げ止まりました。

### <REIT>

2017年中は、金利引き上げペースを睨みながら一定の範囲内で推移していたREIT価格でしたが、2018年に入ってからの金利上昇を受けて利回りの魅力が薄れ、大きく下落しました。

# 運用報告書(全体版)

## <商品市場>

商品市場において金の価格は、相次ぐテロや北朝鮮問題などにより2017年7月から9月にかけて大きく上昇しました。その後、地政学リスクが落ち着きを受けてリスク回避の必要性が薄れたことや、長期金利上昇による投資商品としての魅力低下を受けて、一旦下落しましたが、政治不安や株価の大幅下落などから、再び金市場へ資金が流入し、価格が大きく上昇しました。

## <為替>

2017年内のドル円は概ね108円～114円台で推移しました。

米国の好調な景気と利上げが米ドル高要因となる一方、米長期金利の上昇の鈍さや地政学リスクなどがドルの上値を抑制しました。2018年に入ると、株価の下落、トランプ政権の不透明感、関税を巡る経済摩擦に対する懸念などからリスク回避の流れが強まり、期末にかけて105円台まで円高ドル安が進みました。

## <当ファンドの運用経過と結果>

当ファンドは、受益者の皆様からお預かりした資金をマザーファンドへ高い組入割合で投資しました。マザーファンドは、リターンとリスクの2つの尺度を用いて資産選択の決定を行う平均分散アプローチを用いて、リターンを重視した最適ポートフォリオの投資比率に従って、各ETFに投資を行いました。また、2018年3月には地域、市場に対するリバランスを行いました。

米ドル建ての実質的外貨建資産に対しては、期首に60%の割合で為替ヘッジを行っていましたが、2017年5月に変動リスクが大きくなったことから100%近くに引き上げました。その後2017年11月には日米金利差から来るヘッジコストの上昇と主要通貨の変動などを考慮し、為替ヘッジを60%に致しました。

結果として、当期末基準価額は10,291円、設定日比+291円となりました。債券への配分が少なく、株式ETFを多く組み入れていたことで、株価上昇の恩恵を大きく受けることができました。

# 運用報告書(全体版)

## ＜当ファンドのベンチマークとの差異＞

当ファンドの目的・特色に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。従って、当ファンドとベンチマークおよび参考指数との対比グラフは表示しておりません。

## ＜分配金のお知らせ＞

直近の市況動向等から複利効果を最大限に享受していただくことが最善であると判断し、当期は分配を見合わせました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

分配原資の内訳	(単位:円・%、1万口当たり、税込み)
項目	第1期(自 2017年4月24日 至 2018年3月20日)
当期分配金	—
(対基準価額比率)	(—)
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	290

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## ＜今後の運用方針＞

主として親投資信託である「トラノコ・マザーファンドⅢ」に投資し、投資信託財産の成長を目指して運用を行います。

### トラノコ・マザーファンドⅢ

引き続き、運用の基本方針に従い、リターンを重視した最適ポートフォリオを構築することにより、リスク相応のリターンの獲得を目指した運用を行います。

# 運用報告書(全体版)

## ●1万口当たりの費用明細(2017年4月24日～2018年3月20日)

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a)信託報酬 (投信会社)	30円 (25)	0.294% (0.245)	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価
(販売会社) (受託会社)	(-) (5)	(-) (0.049)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、 購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b)売買委託手数料 (投資信託証券)	66 (66)	0.636 (0.636)	(b)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益 権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払 う手数料
(c)有価証券取引税 (投資信託証券)	0 (0)	0.002 (0.002)	(c)有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益 権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する 税金
(d)その他費用 (保管費用) (監査費用等)	49 (38) (11)	0.476 (0.370) (0.105)	(d)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 ・保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保 管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 ・法定提出書類の作成等に要する費用、監査法人等に支払うファ ンドの監査に係る費用、弁護士費用等
合計	145	1.408	

期中の平均基準価額は、10,350円です。

(注) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しております。

(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しております。



# 運用報告書(全体版)

## ●売買及び取引の状況(2017年4月24日～2018年3月20日)

### 親投資信託受益証券の設定、解約状況

ファンド名称	設定口数	設定金額	解約口数	解約金額
	千口	千円	千口	千円
トラノコ・マザーファンドⅢ	83,177	87,694	859	901

(注)単位未満は切り捨てております。

## ●利害関係人との取引状況等(2017年4月24日～2018年3月20日)

該当事項はございません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ●第二種金融商品取引業を兼業している委託会社の自己取引状況 (2017年4月24日～2018年3月20日)

当期は自社設定分を解約しました。売買手数料はありません。

## ●自社による当ファンドの設定・解約状況(2017年4月24日～2018年3月20日)

当初自己設定元本 (千口)	当期中の設定元本 (千口)	当期中の解約元本 (千口)	当期末の残高 (千口)	取引の理由
1,000	—	1,000	—	自社財産の運用

## ●組入資産の明細(2018年3月20日現在)

### 親投資信託残高

項目	当期末口数	当期末評価額
	千口	千円
トラノコ・マザーファンドⅢ	82,318	85,627

(注)口数・評価額の単位未満は切り捨てております。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

# 運用報告書(全体版)

## ●投資信託財産の構成(2018年3月20日現在)

投資信託財産の構成(2018年3月20日現在)

項目	当期末評価額	当期末比率
	千円	%
トラノコ・マザーファンドⅢ	85,627	97.3
コール・ローン等、その他	2,397	2.7
投資信託財産総額	88,024	100.0

(注)金額の単位未満は切り捨てております。

(注)トラノコ・マザーファンドⅢにおいて、当期末における外貨建て純資産(67,035千円)の投資信託財産総額(85,627千円)に対する比率は78.3%です。

(注)外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。当期末における邦貨換算レートは1米ドル=106.13円、1ユーロ=131.00円です。

## ●資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2018年3月20日現在)

項目	当期末
	円
(A)資産	88,024,021
コール・ローン等	2,396,620
トラノコ・マザーファンドⅢ(評価額)	85,627,401
(B)負債	245,958
未払解約金	165,314
未払信託報酬	60,504
未払利息	5
その他未払費用	20,135
(C)純資産総額(A-B)	87,778,063
元本	85,298,528
次期繰越損益金	2,479,535
(D)受益権総口数	85,298,528口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,291円

(注)当ファンドの期首元本額は1,000,000円、期中追加設定元本額は97,366,264円、期中一部解約元本額は13,067,736円です。

(注)また、1口当たり純資産額は1.0291円です。

## ●損益の状況 (2017年4月24日～2018年3月20日)

項目	当期
	円
(A)配当等収益	△390
支払利息	△390
(B)有価証券売買損益	△1,230,204
売買益	84,490
売買損	△1,314,694
(C)信託報酬等	△92,565
(D)当期損益金(A+B+C)	△1,323,159
(E)追加信託差損益金 (配当等相当額)	3,802,694 (△479)
(売買損益相当額)	(3,803,173)
(F)計(D+E)	2,479,535
(G)収益分配金	0
次期繰越損益金(F+G)	2,479,535
追加信託差損益金 (配当等相当額)	3,802,694 (100,972)
(売買損益相当額)	(3,701,722)
分配準備積立金	209,809
繰越損益金	△1,532,968

(注)損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注)損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注)損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注)計算期末末における費用控除後の配当等収益(209,809円)、費用控除後の有価証券等損益額(0.0円)、および信託約款に規定する収益調整金(2,269,726円)より分配対象収益は2,479,535円(10,000口当たり290円)ですが、当期に分配した金額はありません。

# 運用報告書(全体版)

## ●お知らせ

---

該当事項はございません。

# 親投資信託

## トラノコ・マザーファンドⅢ

### 運用報告書

#### 第1期

決算日：2018年3月20日

(計算期間2017年4月24日～2018年3月20日)

トラノコ・マザーファンドⅢの第1期に係る運用状況をご報告申し上げます。

○当ファンドの仕組みは次のとおりです。

主要投資対象	主として世界各国の金融商品取引所に上場(これに準ずるものを含みます。)される上場投資信託証券(以下「ETF」といいます。)および上場指標連動証券(以下「ETN」といいます。)への投資を通じて、国内外の株式、債券、不動産投資信託(REIT)、コモディティ、金利等に投資します。なお、債券等に直接投資することもあります。
運用方針	①主としてETFおよびETNへの投資を通じて、国内外の株式、債券、不動産投資信託(REIT)、コモディティ、金利等を対象とした様々な資産クラスに対してリスクに合わせてバランスの取れた分散投資を行います。 ②投資する資産クラスや銘柄の選定については、平均分散アプローチを用いて、運用の基本方針に沿った最適ポートフォリオを構築します。 ③ポートフォリオについては、クオンツ・リサーチに基づいた平均分散アプローチによる最適化を定期的に行うことにより、必要な場合にはポートフォリオの構成比率をリバランスします。 ④原則として、米ドル建ての実質的外貨建資産に対して0%～100%の範囲で、適時、対円で為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図ることを基本とします。その他の外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。 ⑤資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合もあります。
主な投資制限	①ETFおよびETNへの投資割合は制限を設けません。 ②外貨建資産への投資割合には制限を設けません。 ③デリバティブの直接利用は行いません。 ④外国為替予約取引は、ヘッジ目的に限定します。 ⑤一般社団法人投資信託協会の規則に定める一の者に対する株式等エクスポージャー、債券等エクスポージャーおよびデリバティブ等エクスポージャーの投資信託財産の純資産総額に対する比率は、原則としてそれぞれ10%、合計で20%以内とすることとし、当該比率を超えることとなった場合には、一般社団法人投資信託協会の規則に従い当該比率以内となるよう調整を行うこととします。

## ●最近5期の運用実績

当ファンドは、ファンド設定後5年間を経過していないため、設定日(2017年4月24日)以降の情報を記載しています。

決算期	基準価額	税込み 分配金	期中 騰落率	投資信託証券 組入比率	純資産
(設定日)	円	円	%	%	百万円
2017年4月24日	10,000	—	—	—	0.999
1期(2018年3月20日)	10,402	—	4.0	97.3	85

(注)設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注)設定日の純資産は、設定元本を表示しております。

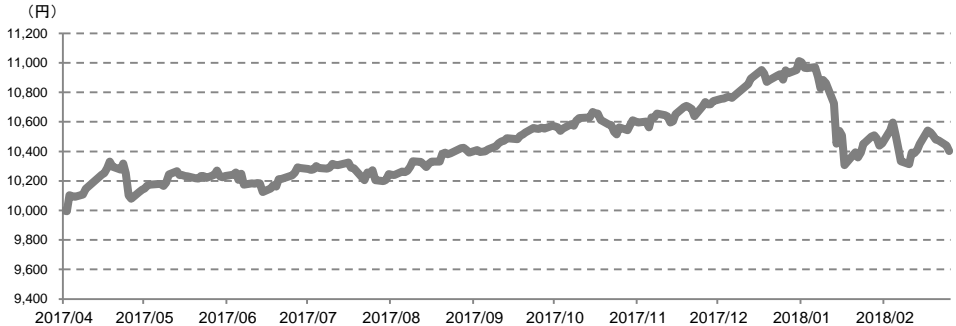
## ●当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率	投資信託証券 組入比率
(設定日)	円	%	%
2017年4月24日	10,000	—	—
4月末	10,092	0.9	93.4
5月末	10,165	1.7	93.5
6月末	10,175	1.8	94.0
7月末	10,283	2.8	93.2
8月末	10,295	3.0	98.5
9月末	10,413	4.1	101.3
10月末	10,574	5.7	98.9
11月末	10,627	6.3	98.8
12月末	10,763	7.6	99.0
2018年1月末	10,827	8.3	98.1
2月末	10,509	5.1	98.3
(期末)			
2018年3月20日	10,402	4.0	97.3

(注)騰落率は設定時の基準価額比です。

## ● 第1期の運用経過等(2017年4月24日～2018年3月20日)

### < 当期中の基準価額等の推移 >



当ファンドの当期末基準価額は10,402円、設定日比+402円となりました。債券への配分が少なく、株式ETFを多く組み入れていたことで、株価上昇の恩恵を大きく受けることができました。

### < 上昇要因 >

以下の要因により、株式ETFが上昇しました。

- ☞世界的な景気拡大見通しを背景に2017年9月度の米国企業決算が好調であった。
- ☞米国が行った法人税減税措置が主要株式市場の支援材料になった。
- ☞緩やかな成長と低インフレによる物価の安定という適温経済(ゴルディロックス)が継続した。

### < 下落要因 >

欧州中央銀行(ECB)ドラギ総裁が金融緩和縮小を匂わす発言をしたためユーロ圏の金利上昇が懸念され株式ETFが下落しました。

米国において政策金利引き上げの影響や継続的な利上げが懸念され債券ETFが下落しました。

### <投資環境>

#### <株式市場>

期首以降、総じて景気拡大が継続したため、世界の株式市場は順調に推移しましたが、2018年に入って大きく下落した後は、期末まで低位で推移しました。

緩やかな成長と低インフレによる物価の安定という適温経済(ゴルディロックス)が継続する中、2017年6月の欧州中央銀行(ECB)ドラギ総裁による欧州における金融緩和縮小を匂わせる発言や、8月に起こった北朝鮮・米国間の緊張などで、一時的に下落する場面はありましたが、主要国の企業決算が好調だったことに加え、11月には米国で法人税減税を決定するなどの好材料が続いたため、2017年内の株価は概ね順調に推移しました。しかし、2018年に入り米国の更なる金融引き締め(追加利上げ)への懸念をきっかけに大きく下落し、その後も、トランプ政権閣僚の相次ぐ交代や、米国の追加輸入関税措置の実施などが不安視され、株式市場は不安定な動きを示しました。

#### <債券市場>

米国の金利の引き上げや、欧州の金融緩和縮小などから、2017年後半から2018年初頭までの間、主要国長期金利が上昇したため、米欧の債券価格は下落しました。しかし、2018年に入りトランプ政権閣僚の相次ぐ交代や、米国の追加輸入関税措置の実施などが不安視された結果、株式市場からの資金流入が拡大し、債券価格は下げ止まりました。

#### <REIT>

2017年中は、金利引き上げペースを睨みながら一定の範囲内で推移していたREIT価格でしたが、2018年に入ってからの金利上昇を受けて利回りの魅力が薄れ、大きく下落しました。

#### <商品市場>

商品市場において金の価格は、相次ぐテロや北朝鮮問題などにより2017年7月から9月にかけて大きく上昇しました。その後、地政学リスクが落ち着きを受けてリスク回避の必要性が薄れたことや、長期金利上昇による投資商品としての魅力低下を受けて、一旦下落しましたが、政治不安や株価の大幅下落などから、再び金市場へ資金が流入し、価格が大きく上昇しました。

#### <為替>

2017年内のドル円は概ね108円~114円台で推移しました。

米国の好調な景気と利上げが米ドル高要因となる一方、米長期金利の上昇の鈍さや地政学リスクなどがドルの上値を抑制しました。2018年に入ると、株価の下落、トランプ政権の不透明感、関税を巡る経済摩擦に対する懸念などからリスク回避の流れが強まり、期末にかけて105円台まで円高ドル安が進みました。

### <当ファンドの運用経過と結果>

当ファンドは、リターンとリスクの2つの尺度を用いて資産選択の決定を行う平均分散アプローチを用いて、リターンを重視した最適ポートフォリオの投資比率に従って、各ETFに投資を行いました。また、2018年3月には地域、市場に対するリバランスを行いました。

米ドル建ての実質的外貨建資産に対しては、期首に60%の割合で為替ヘッジを行っていましたが、2017年5月に変動リスクが大きくなったことから100%近くに引き上げました。その後2017年11月には日米金利差から来るヘッジコストの上昇と主要通貨の変動などを考慮し、為替ヘッジを60%に致しました。

### <当ファンドのベンチマークとの差異>

当ファンドの目的・特色に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。従って、当ファンドとベンチマークおよび参考指数との対比グラフは表示しておりません。

### <今後の運用方針>

引き続き、運用の基本方針に従い、リターンを重視した最適ポートフォリオを構築することにより、リスク相応のリターンの獲得を目指した運用を行います。



●1万口当たりの費用明細

(2017年4月24日～2018年3月20日)

項目	当期		項目の概要
	2017/4/24～ 2018/3/20		
	金額	比率	
(a)売買委託手数料 (投資信託証券)	67円 (67)	0.646% (0.646)	(a)売買委託手数料＝各期中の売買委託手数料÷各期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b)有価証券取引税 (投資信託証券)	0 (0)	0.002 (0.002)	(b)有価証券取引税＝各期中の有価証券取引税÷各期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c)その他費用 (保管費用)	39 (39)	0.377 (0.377)	(c)その他費用＝各期中のその他費用÷各期中の平均受益権口数 ・保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
合計	106	1.025	
期中の平均基準価額は、10,429円です。			

(注)各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しております。

(注)各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)が支払った費用を含みません。

(注)各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を各期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しております。

● 売買及び取引の状況

(2017年4月24日～2018年3月20日)

投資信託証券

	国	銘柄名	単位数 又は口数	買付額	単位数 又は口数	売付額		
国内	日本		□	千円	□	千円		
		TOPIX連動型上場投資信託	7,130	12,807	90	153		
		NEXT FUNDS 東証REIT指数連動型 上場投信	2,460	4,358	10	18		
		小計 証券数・金額	9,590	17,165	100	172		
外国	アメリカ		□	千ドル	□	千ドル		
		ISHARES CORE U.S. AGGREGATE	751	81	6	0.656		
		VANGUARD TOTAL INTL BOND ETF	1,421	77	224	12		
		DEUTSCHE X-TRACKERS MSCI EUR	1,482	41	1,482	40		
		ISHARES JP MORGAN USD EMERGI	498	56	4	0.462		
		SPDR GOLD SHARES	154	18	154	19		
		ISHARES GOLD TRUST	2,086	27	213	2		
		Vanguard Short-Term Corporate Bond ETF	511	40	5	0.399		
		VANGUARD REAL ESTATE ETF	268	21	268	20		
		VANGUARD GLOBAL EX-US REAL ESTATE ETF	372	22	—	—		
		VANGUARD MID CAP ETF	448	68	5	0.737		
		VANGUARD S&P 500 ETF	437	105	158	40		
		VGRD FTSE ALL WRLD EX US SML CAP ETF	332	39	4	0.456		
		VANGUARD FTSE EMERGING MARKET	820	37	4	0.173		
				小計 証券数・金額	9,580	639	2,527	138
			アイル ランド		□	千ユーロ	□	千ユーロ
				VANGUARD FTSE DEVELOP EUROPE UCITS ETF	3,384	101	—	—
	3,384			101	—	—		
		小計 証券数・金額	3,384	101	—	—		

(注) 金額は受け渡し代金です。

(注) 単位未满是切り捨てております。ただし、単位未満の場合は小数で記載しております。

●主要な売買銘柄

(2017年4月24日～2018年3月20日)

銘柄	単位数 又は口数	買付 金額	銘柄	単位数 又は口数	売付 金額
VANGUARD FTSE DEVELOP EUROPE UCITS ETF(ユーロ・アイ ルランド)	3,384	13,304	DEUTSCHE X-TRACKERS MSCI EUR(アメリカ)	1,482	4,352
TOPIX連動型上場投資信託	7,130	12,807	VANGUARD S&P 500 ETF(アメリカ)	158	4,273
VANGUARD S&P 500 ETF(アメリ カ)	437	11,664	VANGUARD REAL ESTATE ETF(アメリカ)	268	2,161
ISHARES CORE U.S. AGGREGATE(アメリカ)	751	8,902	SPDR GOLD SHARES(アメリ カ)	154	2,118
VANGUARD TOTAL INTL BOND ETF(アメリカ)	1,421	8,534	VANGUARD TOTAL INTL BOND ETF(アメリカ)	224	1,293
VANGUARD MID CAP ETF(アメリ カ)	448	7,540	ISHARES GOLD TRUST(ア メリカ)	213	287
ISHARES JP MORGAN USD EMERGI(アメリカ)	498	6,226	TOPIX連動型上場投資信託	90	153
DEUTSCHE X-TRACKERS MSCI EUR(アメリカ)	1,482	4,609	VANGUARD MID CAP ETF(アメリカ)	5	83
Vanguard Short-Term Corporate Bond ETF(アメリカ)	511	4,436	ISHARES CORE U.S. AGGREGATE(アメリカ)	6	73
NEXT FUNDS 東証REIT指数連 動型上場投信	2,460	4,358	ISHARES JP MORGAN USD EMERGI(アメリカ)	4	51

(注)金額は受け渡し代金です。(償還分は含まれておりません。)

●利害関係人との取引状況等

(2017年4月24日～2018年3月20日)

該当事項はございません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

●組入資産の明細

(2018年3月20日現在)

国内投資信託証券

銘柄	当期末単位数 又は口数	当期末 評価額	当期末 組入比率
TOPIX連動型上場投資信託	7,040	12,432	14.5
NEXT FUNDS 東証REIT指数連動型上場投信	2,450	4,397	5.1
合計 単位数又は口数・金額	9,490	16,830	
合計 銘柄数<比率>	2	<19.7%>	

(注) 合計欄の<>内は、純資産総額に対する評価額の比率です。

(注) 単位未満は切り捨てております。

外国投資信託証券

銘柄	当期末単位数 又は口数	当期末評価額 外貨建金額	当期末評価額 邦貨換算金額	当期末 組入比率
(アメリカ)	口	千ドル	千円	%
ISHARES CORE U.S. AGGREGATE	745	79	8,427	9.8
VANGUARD TOTAL INTL BOND ETF	1,197	65	6,914	8.1
ISHARES JP MORGAN USD EMERGI	494	55	5,859	6.8
ISHARES GOLD TRUST	1,873	23	2,512	2.9
Vanguard Short-Term Corporate Bond ETF	506	39	4,202	4.9
VANGUARD GLOBAL EX-US REAL ESTATE ETF	372	22	2,399	2.8
VANGUARD MID CAP ETF	443	69	7,428	8.7
VANGUARD S&P 500 ETF	279	69	7,391	8.6
VGRD FTSE ALL WRLD EX US SML CAP ETF	328	39	4,160	4.9
VANGUARD FTSE EMERGING MARKET	816	38	4,104	4.8
小計 証券数・金額	7,053	503	53,401	
小計 計銘柄数<比率>	10	—	<62.4%>	
(ユーロ・・・アイルランド)		千ユーロ		
VANGUARD FTSE EMERGING MARKET	3,384	100	13,116	15.3
小計 証券数・金額	3,384	100	13,116	
小計 計銘柄数<比率>	1	—	<15.3%>	
合計 証券数・金額	10,437	—	66,518	
合計 銘柄数<比率>	11	—	<77.7%>	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) <>内は、純資産総額に対する評価額の比率です。

(注) 単位未満は切り捨てております。

## <組入上位ETFの概要>

※発行会社作成のANNUAL REPORTから内容を抜粋しています。

### Vanguard FTSE Developed Europe UCITS ETF

#### Fund Profile (unaudited)

As at 30 June 2017  
The Fund Profile does not form part of the Financial Statements.

#### Investment Objective

Vanguard FTSE Developed Europe UCITS ETF seeks to track the performance of the FTSE Developed Europe Index, a widely recognised benchmark of stock market performance of European developed countries that is composed of the stocks of large- and mid-capitalised companies in developed Europe.

#### Portfolio Characteristics

	Fund	FTSE Developed Europe Index
Number of Stocks	565	540
Median Market Cap		
Euro	€40.7B	€40.7B
British Pounds	£35.7B	£35.6B
Swiss Francs	CHF44.4B	CHF44.5B
US Dollars	\$46.4B	\$46.4B
Price/Earnings Ratio	19.2x	19.2x
Price/Book Ratio	1.8x	1.8x
Yield	3.3%	3.3%
Return on Equity	16.0%	16.0%
Earnings Growth Rate	1.1%	1.1%
Turnover Rate	6%	—
Ongoing Charges Figure	0.12%	—
Short-Term Reserves	-0.1%	—

#### Volatility Measures

	Fund	FTSE Developed Europe Index
R-Squared	1.00	1.00
Beta	1.00	1.00

#### Sector Diversification (% of portfolio)

	Fund	FTSE Developed Europe Index
Basic Materials	7.6%	7.6%
Consumer Goods	19.9	19.0
Consumer Services	6.5	6.5
Financials	22.7	22.7
Health Care	12.5	12.4
Industrials	14.0	14.0
Oil & Gas	6.5	6.5
Technology	3.6	3.6
Telecommunications	3.9	3.9
Utilities	3.8	3.8

#### Market Diversification (% of portfolio)

	Fund	FTSE Developed Europe Index
United Kingdom	28.6%	28.6%
France	15.6	15.6
Germany	14.9	14.9
Switzerland	13.6	13.6
Spain	5.4	5.4
Netherlands	5.2	5.2
Sweden	4.7	4.7
Italy	3.9	3.9
Danmark	2.8	2.8
Belgium	1.8	1.8
Finland	1.7	1.7
Other	1.8	1.8

#### Ten Largest Holdings<sup>1</sup> (% of total net assets)

Company	Industry	Weight
Nestle SA	Food Products	3.0%
Royal Dutch Shell plc	Integrated Oil & Gas	2.5
Novartis AG	Pharmaceuticals	2.2
Roche Holding AG	Pharmaceuticals	2.1
HSBC Holdings plc	Banks	2.1
Unilever	Personal Products	1.7
British American Tobacco plc	Tobacco	1.4
BP plc	Integrated Oil & Gas	1.2
TOTAL SA	Integrated Oil & Gas	1.2
Bayer AG	Specialty Chemicals	1.2
Top Ten		18.6%

#### Investment Focus

Style		Value	Bland	Growth
Market Cap	Large			
	Medium			
	Small			

<sup>1</sup> The holdings listed exclude any temporary cash investments and equity index products.

## <組入上位ETFの概要>

※発行会社作成のANNUAL REPORTから内容を抜粋しています。

### TOPIX連動型上場投資信託

#### (1) 【貸借対照表】

(単位：円)

	第15期 (平成28年7月10日現在)	第16期 (平成29年7月10日現在)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
コール・ローン	500,442,520,594	633,821,087,712
株式	2,463,057,774,650	5,159,158,835,900
新株予約権証券	-	11,891,400
派生商品評価勘定	-	282,355,580
未収入金	-	429,563,100
未収配当金	3,713,373,865	5,631,885,859
未収利息	12,612,017	15,705,228
その他未収収益	32,358,586	389,465,150
差入委託証拠金	10,007,439,940	3,877,844,100
<b>流動資産合計</b>	<b>2,977,266,079,652</b>	<b>5,803,618,634,029</b>
<b>資産合計</b>	<b>2,977,266,079,652</b>	<b>5,803,618,634,029</b>
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
派生商品評価勘定	1,947,605,210	10,185,900
未払金	5,094,766,880	89,163,598
未払収益分配金	55,248,392,908	82,064,903,336
未払受託者報酬	653,684,863	1,173,257,958
未払委託者報酬	1,230,704,506	2,174,051,224
未払利息	2,289,421	863,212
有価証券貸借取引受入金	425,742,401,489	513,172,019,408
その他未払費用	472,073,834	623,780,119
<b>流動負債合計</b>	<b>490,391,919,111</b>	<b>599,308,224,755</b>
<b>負債合計</b>	<b>490,391,919,111</b>	<b>599,308,224,755</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>元本等</b>		
元本	2,529,688,320,000	3,945,428,045,000
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金(△)	△42,814,159,459	1,258,882,364,274
(分配準備積立金)	176,650,519	81,068,774
<b>元本等合計</b>	<b>2,486,874,160,541</b>	<b>5,204,310,409,274</b>
<b>純資産合計</b>	<b>2,486,874,160,541</b>	<b>5,204,310,409,274</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>2,977,266,079,652</b>	<b>5,803,618,634,029</b>

## <組入上位ETFの概要>

※発行会社作成のANNUAL REPORTから内容を抜粋しています。

## iSHARES® CORE U.S. AGGREGATE BOND ETF

	iShares Core U.S. Aggregate Bond ETF		iShares Core U.S. Aggregate Bond ETF
<b>ASSETS</b>			
Investments, at cost:		<b>NET INVESTMENT INCOME</b>	
Unaffiliated	\$42,176,038,363	Dividends — affiliated (Note 2)	\$ 26,479,018
Affiliated (Note 2)	<u>4,378,537,159</u>	Interest — unaffiliated	841,186,475
Total cost of investments	<u>\$46,554,575,522</u>	Interest — affiliated (Note 2)	1,123,235
Investments in securities, at fair value (including securities on loan*) (Note 1):		Securities lending income — affiliated — net (Note 2)	<u>4,083,689</u>
Unaffiliated	\$42,251,595,367	Total investment income	<u>872,872,417</u>
Affiliated (Note 2)	<u>4,380,586,950</u>	<b>EXPENSES</b>	
Total fair value of investments	46,632,182,317	Investment advisory fees (Note 2)	<u>26,487,409</u>
Cash	657,784	Total expenses	26,487,409
Receivables:		Less investment advisory fees waived (Note 2)	<u>(3,726,880)</u>
Investment securities sold	980,379,441	Net expenses	<u>22,760,529</u>
Due from custodian (Note 4)	271,320	Net investment income	<u>850,111,888</u>
Dividends and interest	228,736,630	<b>NET REALIZED AND UNREALIZED GAIN (LOSS)</b>	
Capital shares sold	<u>35,963,681</u>	Net realized gain (loss) from:	
Total Assets	<u>47,878,191,173</u>	Investments — unaffiliated	(36,384,028)
<b>LIABILITIES</b>		Investments — affiliated (Note 2)	173,913
Payables:		In-kind redemptions — unaffiliated	25,043,055
Investment securities purchased	5,319,052,435	In-kind redemptions — affiliated (Note 2)	67,367
Collateral for securities on loan (Note 1)	140,444,399	Realized gain distributions from affiliated funds	<u>456,808</u>
Due to broker for TBA collateral	6,618,000	Net realized loss	<u>(10,642,885)</u>
Securities related to in-kind transactions (Note 4)	180,026	Net change in unrealized appreciation/depreciation	<u>(461,360,937)</u>
Investment advisory fees (Note 2)	<u>1,308,871</u>	Net realized and unrealized gain (loss)	<u>(472,003,822)</u>
Total Liabilities	<u>5,467,603,731</u>	<b>NET INCREASE (DECREASE) IN NET ASSETS RESULTING FROM OPERATIONS</b>	<u>\$ 378,108,066</u>
<b>NET ASSETS</b>	<u>\$42,410,587,442</u>		
<b>Net assets consist of:</b>			
Paid-in capital	\$42,389,018,055		
Undistributed net investment income	74,339,328		
Accumulated net realized loss	(130,376,736)		
Net unrealized appreciation (depreciation)	<u>77,606,795</u>		
<b>NET ASSETS</b>	<u>\$42,410,587,442</u>		
Shares outstanding <sup>2</sup>	<u>390,000,000</u>		
Net asset value per share	<u>\$ 108.75</u>		

\* Securities on loan with values of \$3,493,170, \$537,470 and \$135,678,032, respectively. See Note 1.  
<sup>2</sup> No par value, unlimited number of shares authorized.

\* For the period from November 1, 2016 (commencement of operations) to February 28, 2017.

## ●投資信託財産の構成(2018年3月20日現在)

項目	当期末評価額	当期末比率
投資信託受益証券	千円 83,348	% 97.3
コール・ローン等、その他	2,279	2.7
投資信託財産総額	85,627	100.0

(注)金額の単位未満は切り捨てております。

(注)当期末における外貨建て純資産(67,035千円)の投資信託財産総額(85,627千円)に対する比率は78.3%です。

(注)外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。当期末における邦貨換算レートは1米ドル=106.13円、1ユーロ=131.00円です。

## ●資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2018年3月20日現在)

項目	当期末
(A)資産	円 117,923,949
コール・ローン等	2,069,414
投資信託受益証券(評価額)	83,348,717
未収入金	32,489,210
未収配当金	16,608
(B)負債	32,296,453
未払金	32,296,450
未払利息	3
(C)純資産総額(A-B)	85,627,496
元本	82,318,209
次期繰越損益金	3,309,287
(D)受益権総口数	82,318,209口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,402円

(注)当親ファンドの期首元本額は999,000円、期中追加設定元本額は82,178,579円、期中一部解約元本額は859,370円です。

(注)当親ファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額は、【元本の内訳】の通りです。

(注)また、1口当たり純資産額は1.0402円です。

【元本の内訳】

トラノコ・ファンドⅢ 82,318,209円

## ●損益の状況 (2017年4月24日～2018年3月20日)

項目	当期
(A)配当等収益	円 329,638
受取配当金	329,875
受取利息	394
支払利息	△631
(B)有価証券売買損益	△1,414,131
売買益	2,456,244
売買損	△3,870,375
(C)信託報酬等	△81,217
(D)当期損益金(A+B+C)	△1,165,710
(E)追加信託差損益金	4,516,627
(F)解約差損益金	△41,630
(G)計(D+E+F)	3,309,287
次期繰越損益金(G)	3,309,287

(注)損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注)損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注)損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注)損益の状況の中で(F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。